

かつら^{ざか}坂

【景観上の特徴】

かつら坂は中央区（宮の森4条11丁目）と西区（山の手1条12・13丁目）との区境に位置する、北1条・宮の沢通から山側に向かう勾配のある道路です。

地域町内会が日々上り下りする坂道に親しみのある愛称をつけようと、広く町内外の方々から名前を募集し、沿道の桂並木の景観に心を打たれたことに由来する「かつら坂」が選定されました。この経緯は地域町内会が作成した坂道の途中にある塀の案内板に書かれています。

坂の頂上から下側（北東側）を見下ろすと、かつら坂を含む1.7Kmもの直線道路が伸びており、左前方には二十四軒や琴似の街並みを、右遠方には東区をつどーむを見ることができます。よく晴れた日には、札幌市外の山々をも望むことができる、札幌らしい長い直線道路と三角山の山麓からなる坂が、地域に親しまれる景観を生み出しています。



登録年月日	令和6年（2024年）4月30日
所在地	札幌市西区山の手1条12丁目、13丁目、中央区宮の森4条11丁目
連絡・ 問い合わせ先	—
URL・資料	—
備考	・車道での写真撮影などは危険ですのでお止めください。 ・駐車場はありませんので、公共交通機関でお越しください。

令和6年（2024年）4月時点